



CHAPTER 5

シングル インボックスが有効な場合の Cisco Unity Connection 内 Microsoft Exchange メールボックスの復元

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco Unity Connection 用 Exchange メールボックスの復元前にシングル インボックスを無効にしておくことの重要性」 (P.5-1)
- 「シングル インボックスが有効な場合の Cisco Unity Connection 内 Microsoft Exchange メールボックス復元のタスク リスト」 (P.5-2)
- 「Cisco Unity Connection 用シングル インボックスの無効化」 (P.5-3)

Cisco Unity Connection 用 Exchange メールボックスの復元前にシングル インボックスを無効にしておくことの重要性

Exchange メールボックスの復元を検討していて、復元する Exchange メールボックスを使用する Cisco Unity Connection ユーザのシングル インボックスのユニファイドメッセージング サービス機能が有効になっている場合は、Exchange を復元する前にそのユーザのシングル インボックスを無効にする必要があります。

シングル インボックスを無効にした場合の動作の同期に対する影響に関する詳細については、「[シングル インボックスを無効にしてから再度有効にした場合の、Connection メールボックスと Exchange メールボックスの同期への影響](#)」 (P.2-10) を参照してください。



注意

Exchange メールボックスが復元される Connection ユーザのシングル インボックスを無効にしないと、復元が作成されてから完了するまでの間に受信されたボイス メッセージに Connection が再同期できなくなります。

Connection は、どのボイス メッセージがすでに Exchange に転送されたのかを追跡する同期キャッシュを維持します。シングル インボックスを無効にすると、同期キャッシュは自動的にクリアされません。そのプロセスは次のとおりです。

1. Exchange をバックアップします。
2. 新しいボイス メッセージが届きます。

3. Connection は、ボイス メッセージを Connection ユーザに関連付けられている Exchange メールボックスと同期させます。
4. Connection は、そのメッセージが Exchange と同期したことを表すよう、そのユーザの同期キャッシュを更新します。
5. Exchange サーバのハード ディスクに障害が発生します。
6. 障害が発生したハード ディスクに Exchange メールボックスがある Connection ユーザのシングル インボックスを無効にします。
7. Connection により、そのユーザの同期キャッシュがクリアされます。
8. ハード ディスクを交換し、1. で作成したバックアップから Exchange を復元します。
9. そのユーザのシングル インボックスを再度有効にします。
10. Connection により、同期キャッシュと現在 Exchange にあるボイス メールが定期的に比較されます。
11. キャッシュが空であるため、Connection により、Connection メールボックスには存在するが、Exchange メールボックスには存在しないボイス メッセージは、まだ Exchange と同期していないという結論が出されます。
12. Connection により、Connection メールボックスが Exchange メールボックスと再同期され、同期キャッシュが再構築されます。

Connection ユーザのシングル インボックスを無効にせずに Exchange メールボックスを復元すると、復元に必要なバックアップの作成後に受信されたボイス メッセージが、Connection によりすべて消去されます。

1. Exchange をバックアップします。
2. 新しいボイス メッセージが届きます。
3. Connection は、ボイス メッセージを Connection ユーザに関連付けられている Exchange メールボックスと同期させます。
4. Connection は、そのメッセージが Exchange と同期したことを表すよう、そのユーザの同期キャッシュを更新します。
5. Exchange サーバのハード ディスクに障害が発生します。
6. ハード ディスクを交換し、1. で作成したバックアップから Exchange を復元します。
7. Connection により、同期キャッシュと現在 Exchange にあるボイス メールが定期的に比較されます。2. で届いたボイス メッセージは、関連する Connection ユーザの Exchange メールボックス内には存在していません。
8. Connection により、ボイス メッセージはすでに Exchange と同期していて、Exchange メールボックス内のメッセージとは再同期していないという結論が出されます。

シングル インボックスが有効な場合の Cisco Unity Connection 内 Microsoft Exchange メールボックス復元のタスク リスト

1. 選択したユーザ、またはユニファイド メッセージング サービスのシングル インボックスを無効にします。「Cisco Unity Connection 用シングル インボックスの無効化」(P.5-3) を参照してください。

2. Exchange メールボックスを復元します。詳細については、該当する Microsoft 社の資料を参照してください。
3. タスク 1. でシングル インボックスを無効にした手順を逆の順序で実行し、シングル インボックスを再度有効にします。
 - Connection の管理を使用して個々のユーザのシングル インボックスを無効にした場合は、「[Connection のための個別ユーザのシングル インボックス無効化](#)」(P.5-4) の手順を繰り返します。ただし、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングル インボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオンにします。
 - ユニファイド メッセージング サービスのシングル インボックスを無効にした場合は、「[Connection のユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザのシングル インボックスの無効化方法](#)」(P.5-5) の手順を繰り返します。ただし、必要に応じて、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングル インボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックス、または [有効 (Enabled)] チェックボックスをオンにします。
 - 一括管理ツールを使用して個々のユーザのシングル インボックスを無効にした場合は、「[Connection 用一括管理ツールによる多数の選択ユーザのシングル インボックス無効化方法](#)」(P.5-5) の手順を繰り返します。ただし、enableMbxSynch の値を 1 に変更します。

Cisco Unity Connection 用シングル インボックスの無効化

「[Cisco Unity Connection 用 Exchange メールボックスの復元前にシングル インボックスを無効にしておくことの重要性](#)」(P.5-1) で説明したとおり、Exchange メールボックスを復元するときの最初のステップは、シングル インボックスの無効化です。シングル インボックスを無効にする方法はいくつかありますが、それは、復元する Exchange メールボックスの数、ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべての Exchange メールボックスを復元するかどうか、および復元中の Connection の機能に対する影響への考慮により異なります。



(注)

シングル インボックスを無効にした場合の同期に対する影響に関する詳細については、「[シングル インボックスを無効にしてから再度有効にした場合の、Connection メールボックスと Exchange メールボックスの同期への影響](#)」(P.2-10) を参照してください。

ユーザ数が少ない場合の Exchange メールボックスの復元

ユーザ数が少ない場合の Exchange メールボックスの復元では、Connection の管理を使用して個々のユーザ アカウントのシングル インボックスを無効にします。「[Connection のための個別ユーザのシングル インボックス無効化](#)」(P.5-4) の手順を参照してください。

ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザの Exchange メールボックスを復元する場合、または Connection の機能を考慮せずにメールボックスを復元する場合

Exchange メールボックスを復元するとき次の両方の条件に当てはまる場合は、ユニファイド メッセージング サービスのシングル インボックスを無効にします。これにより、ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザのシングル インボックス機能が無効にされます。

- ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザのメールボックスを復元する。

- ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているユーザを選択してメールボックスを復元する。シングル インボックスの停止によるユーザへの影響が少ない業務時間外にメールボックスを復元する。

ユニファイド メッセージング サービスのシングル インボックスを無効にする方法には 2 つあります。

- 1 つのユニファイド メッセージング サービスのシングル インボックスだけを無効にする：シングル インボックスだけを無効にする場合、Connection の会話は他のユニファイド メッセージング機能のオプションの再生を続行します。Exchange を使用できない間に、ユーザがこれらの機能の 1 つを選択した場合、Connection の会話が、現在そのメッセージにはアクセスできない状態であることをアナウンスします。
- ユニファイド メッセージング サービス全体を無効にする：ユニファイド メッセージング サービスが他のユニファイド メッセージング機能も有効にしている、そのサービスも無効にする場合は、ユーザを混乱させないように、ユニファイド メッセージング サービスが再度有効にされるまで、Connection の会話はこれらの機能のオプションの再生を停止します。

「Connection のユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザのシングル インボックスの無効化方法」(P.5-5) の手順を参照してください。

ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられている（すべてではなく）一部のユーザの Exchange メールボックスを復元するときに、Connection の機能が考慮される場合のメールボックスの復元

ユニファイド メッセージング サービスに関連付けられている多数のユーザの Exchange メールボックスを復元するときに、次の両方の条件に当てはまる場合は、一括管理ツールを使用して各ユーザのシングル インボックスを無効にします。

- ユニファイド メッセージング サービスが、メールボックスを復元しないユーザも含んでいる。
- メールボックスを復元しないユーザへの影響を最小化したい業務時間内にメールボックスを復元する。

「Connection 用一括管理ツールによる多数の選択ユーザのシングル インボックス無効化方法」(P.5-5) の手順を参照してください。

Connection のための個別ユーザのシングル インボックス無効化

ステップ 1 Connection の管理で、[ユーザ (Users)] を選択します。

ステップ 2 [ユーザの検索 (Search Users)] ページで修正するユーザ アカウントのエイリアスを選択します。



(注) ユーザが検索結果テーブルに表示されない場合は、ページ上部の検索フィールドに適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

ステップ 3 [編集 (Edit)] メニューで、[ユニファイド メッセージング アカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。


ステップ 4 そのユーザのシングル インボックスを有効にしているユニファイド メッセージング アカウントを選択します。

ステップ 5 [Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングル インボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオフにします。

ステップ 6 [保存 (Save)] を選択します。

ステップ 7 他のユーザに対して、[ステップ 1](#) ～ [ステップ 6](#) を繰り返します。

Connection のユニファイド メッセージング サービスに関連付けられているすべてのユーザのシングル インボックスの無効化方法

- ステップ 1** Connection の管理で [ユニファイド メッセージング (Unified Messaging)] > [ユニファイド メッセージング サービス (Unified Messaging Services)] の順に選択します。
- ステップ 2** [ユニファイド メッセージング サービスの検索 (Search Unified Messaging Services)] ページで、変更するユニファイドメッセージング サービスのエイリアスを選択します。
-  **(注)** ユニファイドメッセージング サービスが検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** このユニファイドメッセージング サービスに関連付けられているユーザのシングル インボックスのみを表示するには、[Connection と Exchange のメールボックスを同期する (シングル インボックス) (Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox))] チェックボックスをオフにします。
- ユニファイドメッセージング サービス全体を無効にするには、[有効 (Enabled)] チェックボックスをオフにします。
- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** シングル インボックスを無効にする他のユニファイドメッセージング サービスについても、[ステップ 1](#) ~ [ステップ 4](#) を繰り返します。

Connection 用一括管理ツールによる多数の選択ユーザのシングル インボックス無効化方法

- ステップ 1** Connection の管理で、[ツール (Tools)] > [一括管理ツール (Bulk Administration Tool)] の順に選択します。
- ステップ 2** [操作の選択 (Select Operation)] から [エクスポート (Export)] を選択します。
- ステップ 3** [オブジェクト タイプの選択 (Select Object Type)] で、[ユニファイドメッセージング アカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。
- ステップ 4** ユニファイドメッセージング アカウントをエクスポートする CSV ファイルのファイル名を入力します。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] を選択します。
- ステップ 6** 画面の指示に従い、CSV ファイルを保存します。
- ステップ 7** CSV ファイルを開きます。
- ステップ 8** シングル インボックス機能を無効にするユーザの enableMbxSynch の値を **0** に変更します。
- ステップ 9** Connection の管理で、[ツール (Tools)] > [一括管理ツール (Bulk Administration Tool)] の順に選択します。
- ステップ 10** [操作の選択 (Select Operation)] から [更新 (Update)] を選択します。
- ステップ 11** [オブジェクト タイプの選択 (Select Object Type)] で、[ユニファイドメッセージング アカウント (Unified Messaging Accounts)] を選択します。
- ステップ 12** [ステップ 8](#) で更新した CSV ファイルの名前を入力します。
- ステップ 13** [送信 (Submit)] を選択します。

■ Cisco Unity Connection 用シングル インボックスの無効化